

学校コード F126110107407

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前相談

注2

京都大学大学院 情報学研究科 情報学専攻 (博士後期課程)

【事前相談】 設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

国立大学法人京都大学
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	総務部総務課法規企画掛
職名・氏名	イシカワ タカユキ 石川 貴之
電話番号	075-753-2234
(夜間)	同上
e-mail	830houki@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

京都大学大学院 情報学研究科

＜情報学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人京都大学

(2) 大学名

京都大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒606-8501
京都府京都市左京区吉田本町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長			
学長	(ミナト ナガヒロ) 湊 長博 (令和2年10月)		
研究科長	(イガラシ アツシ) 五十嵐 淳 (令和5年4月)		
専攻長	(ヤマシタ ノブオ) 山下 信雄 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
情報学研究科 情報学専攻 博士(情報学)	工学関係	3 年	60 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	180 人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	0.61倍	一倍	0.61倍	一倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []					
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []					
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.61					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[12]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[12]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
令和3年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
令和4年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	— 人	— 人	
令和5年度	37 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	— 人	— 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{37} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<情報学研究科 情報学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
知能情報学コース科目	知能情報学特別セミナー	1通	2			8						3
	脳認知科学特別セミナーA	1前		2		3	2					
	脳認知科学特別セミナーB	1後		2		3	2					
	認知システム特別セミナーA	1前		2		2	2					
	認知システム特別セミナーB	1後		2		2	2					
	知能メディア特別セミナーA	1前		2		3	2					
	知能メディア特別セミナーB	1後		2		3	2					
	メディア応用特別セミナーA	1前		2								3
	メディア応用特別セミナーB	1後		2								3
	生命システム情報学特別セミナーA	1前		2								2
	生命システム情報学特別セミナーB	1後		2								2
小計(11科目)		—	2	20	0	8	6	0	0	0	0	5
社会情報学コース科目	社会情報学特別セミナー	2通	2			4						6
	社会情報モデル特別セミナーA	1前		2		2	1					1
	社会情報モデル特別セミナーB	1後		2		2	1					1
	社会情報ネットワーク特別セミナーA	1前		2		2	1					2
	社会情報ネットワーク特別セミナーB	1後		2		2	1					2
	生物圏情報学特別セミナーA	1前		2		1	1					
	生物圏情報学特別セミナーB	1後		2		1	1					
	地域・防災情報システム学特別セミナーA	1前		2								5
	地域・防災情報システム学特別セミナーB	1後		2								5
	医療情報学特別セミナーA	1前		2								1
	医療情報学特別セミナーB	1後		2								1
	社会情報解析基盤特別セミナーA	1前		2								2
	社会情報解析基盤特別セミナーB	1後		2								2
小計(13科目)		—	2	24	0	4	0	0	0	0	0	11
先端数理科学コース科目	数理科学特別セミナー	1通	2			4						3
	応用解析学特別セミナーA	1前		2		2	2					
	応用解析学特別セミナーB	1後		2		2	2					
	非線形物理学特別セミナーA	1前		2		1	1					
	非線形物理学特別セミナーB	1後		2		1	1					
	応用数学特別セミナーA	1前		2		1	2					
	応用数学特別セミナーB	1後		2		1	2					
小計(7科目)		—	2	12	0	4	5	0	0	0	0	3
数理工学コース科目	数理工学特別セミナーA	1前	2			4						1
	数理工学特別セミナーB	1後	2			4						1
	応用数学特別セミナー	1後		2		1	2					
	システム数理特別セミナー	1後		2		1	2					2
	数理物理学特別セミナー	1前		2		2	1					
小計(5科目)		—	4	6	0	4	5	0	0	0	0	2
システム科学コース科目	システム科学特別セミナー	1前	2			7						
	人間機械共生系特別セミナーA	1前		2		3	2					
	人間機械共生系特別セミナーB	1後		2		3	2					
	システム構成論特別セミナーA	1前		2		2	2					
	システム構成論特別セミナーB	1後		2		2	2					
	システム情報論特別セミナーA	1前		2		2	2					1
	システム情報論特別セミナーB	1後		2		2	2					1
	小計(7科目)		—	2	12	0	6	4	0	0	0	0

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
知能情報学コース科目	知能情報学特別セミナー	1通	2			7						4
	脳認知科学特別セミナーA	1前		2		3	2					
	脳認知科学特別セミナーB	1後		2		3	2					
	認知システム特別セミナーA	1前		2		2	0					
	認知システム特別セミナーB	1後		2		2	0					
	知能メディア特別セミナーA	1前		2		2	2					1
	知能メディア特別セミナーB	1後		2		2	2					1
	メディア応用特別セミナーA	1前		2								3
	メディア応用特別セミナーB	1後		2								3
	生命システム情報学特別セミナーA	1前		2								2
	生命システム情報学特別セミナーB	1後		2								2
小計(11科目)		—	2	20	0	7	4	0	0	0	0	6
社会情報学コース科目	社会情報学特別セミナー	2通	2			5						6
	社会情報モデル特別セミナーA	1前		2		2	0					1
	社会情報モデル特別セミナーB	1後		2		2	0					1
	社会情報ネットワーク特別セミナーA	1前		2		2	0					2
	社会情報ネットワーク特別セミナーB	1後		2		2	0					2
	生物圏情報学特別セミナーA	1前		2		2	1					
	生物圏情報学特別セミナーB	1後		2		2	1					
	地域・防災情報システム学特別セミナーA	1前		2								4
	地域・防災情報システム学特別セミナーB	1後		2								4
	医療情報学特別セミナーA	1前		2								1
	医療情報学特別セミナーB	1後		2								1
	社会情報解析基盤特別セミナーA	1前		2								2
	社会情報解析基盤特別セミナーB	1後		2								2
小計(13科目)		—	2	24	0	5	1	0	0	0	0	10
先端数理科学コース科目	数理科学特別セミナー	1通	2			4						2
	応用解析学特別セミナーA	1前		2		2	2					
	応用解析学特別セミナーB	1後		2		2	2					
	非線形物理学特別セミナーA	1前		2		1	1					
	非線形物理学特別セミナーB	1後		2		1	1					
	応用数学特別セミナーA	1前		2		1	2					
	応用数学特別セミナーB	1後		2		1	2					
小計(7科目)		—	2	12	0	4	5	0	0	0	0	2
数理工学コース科目	数理工学特別セミナーA	1前	2			3						1
	数理工学特別セミナーB	1後	2			3						1
	応用数学特別セミナー	1後		2		0	2					
	システム数理特別セミナー	1後		2		1	2					2
	数理物理学特別セミナー	1前		2		2	1					
小計(5科目)		—	4	6	0	3	5	0	0	0	0	2
システム科学コース科目	システム科学特別セミナー	1前	2			7						
	人間機械共生系特別セミナーA	1前		2		3	2					
	人間機械共生系特別セミナーB	1後		2		3	2					
	システム構成論特別セミナーA	1前		2		2	2					
	システム構成論特別セミナーB	1後		2		2	2					
	システム情報論特別セミナーA	1前		2		2	1					1
	システム情報論特別セミナーB	1後		2		2	1					1
	小計(7科目)		—	2	12	0	7	5	0	0	0	0

通信情報システムコース科目	通信情報システム特別セミナーA	1前	1			7														4	
	通信情報システム特別セミナーB	1後	1			7														4	
	コンピュータ工学特別セミナーA	1前		2		3	3														
	コンピュータ工学特別セミナーB	1後		2		3	3														
	通信システム工学特別セミナーA	1前		2		2	2													1	
	通信システム工学特別セミナーB	1後		2		2	2													1	
	集積システム工学特別セミナーA	1前		2		2	1														
	集積システム工学特別セミナーB	1後		2		2	1														
	地球電波工学特別セミナーA	1前		2																	4
	地球電波工学特別セミナーB	1後		2																	4
	情報通信基盤特別セミナーA	1前		2																	2
	情報通信基盤特別セミナーB	1後		2																	2
小計(12科目)		—	2	20	0	7	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
データ科学コース科目	データ科学特別セミナー	1通	2			4														3	
	統計モデリング特別セミナーA	1前		2		1	1														1
	統計モデリング特別セミナーB	1後		2		1	1														1
	機械学習特別セミナーA	1前		2		1	1														1
	機械学習特別セミナーB	1後		2		1	1														1
	応用データ科学特別セミナーA	1前		2		2															1
	応用データ科学特別セミナーB	1後		2		2															1
	小計(7科目)		—	2	12	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
その他	情報学における長期インターンシップ	1・2前後				2	1														
	小計(1科目)		—	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(研究指導)	1~3				34	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
合計(63科目)		—	16	106	2	34	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	
卒業要件及び履修方法																					
3年以上在学して、博士後期課程において開設する当該授業科目を6単位以上取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格すること。 なお、「6単位以上」には、自コース科目(セミナー)4単位を含むこと。																					

通信情報システムコース科目	通信情報システム特別セミナーA	1前	1																		4	
	通信情報システム特別セミナーB	1後	1																		4	
	コンピュータ工学特別セミナーA	1前		2		3	3															
	コンピュータ工学特別セミナーB	1後		2		3	3															
	通信システム工学特別セミナーA	1前		2		2	2														0	
	通信システム工学特別セミナーB	1後		2		2	2														0	
	集積システム工学特別セミナーA	1前		2		2	1															
	集積システム工学特別セミナーB	1後		2		2	1															
	地球電波工学特別セミナーA	1前		2																		4
	地球電波工学特別セミナーB	1後		2																		4
	情報通信基盤特別セミナーA	1前		2																		2
	情報通信基盤特別セミナーB	1後		2																		2
小計(12科目)		—	2	20	0	8	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6		
データ科学コース科目	データ科学特別セミナー	1通	2			4															3	
	統計モデリング特別セミナーA	1前		2		1	1														1	
	統計モデリング特別セミナーB	1後		2		1	1														1	
	機械学習特別セミナーA	1前		2		1	1														1	
	機械学習特別セミナーB	1後		2		1	1														1	
	応用データ科学特別セミナーA	1前		2		2															1	
	応用データ科学特別セミナーB	1後		2		2															1	
	小計(7科目)		—	2	12	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
その他	情報学における長期インターンシップ	1・2前後				2	1															
	小計(1科目)		—	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	(研究指導)	1~3				34	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	
合計(63科目)		—	16	106	2	34	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33		
卒業要件及び履修方法																						
3年以上在学して、博士後期課程において開設する当該授業科目を6単位以上取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格すること。 なお、「6単位以上」には、自コース科目(セミナー)4単位を含むこと。																						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

知能情報学特別セミナー：専任就任辞退、兼担採用により専任教員等の配置変更（教授1減、兼1増）
認知システム特別セミナーA,B：就任辞退により、専任教員等の配置変更（准教授2減）
知能メディア特別セミナーA,B：専任就任辞退、兼担採用により専任教員等の配置変更（教授1減、兼1増）
社会情報学特別セミナー：採用により、専任教員等の配置変更（教授1増）
社会情報モデル特別セミナーA,B：就任辞退により、専任教員等の配置変更（准教授1減）
社会情報ネットワーク特別セミナーA,B：就任辞退により、専任教員等の配置変更（准教授1減）
生物圏情報学特別セミナーA,B：採用により、専任教員等の配置変更（教授1増）
地域・防災情報システム学特別セミナーA,B：兼担教員の学内異動により、専任教員等の配置変更（兼1減）
数理学特別セミナー：兼担教員退職により、専任教員等の配置変更（兼1減）
数理工学特別セミナーA,B：就任辞退により、専任教員等の配置変更（教授1減）
応用数学特別セミナー：就任辞退により、専任教員等の配置変更（教授1減）
システム情報論特別セミナーA,B：採用により、専任教員等の配置変更（准教授1増）
通信情報システム特別セミナーA,B：採用により、専任教員等の配置変更（教授1増）
通信システム工学特別セミナーA,B：就任辞退・兼担教員の専任採用により専任教員等の配置変更（兼1減）
集積システム工学特別セミナーA,B：採用により、専任教員等の配置変更（教授1増）
研究指導：採用・辞職・異動等により、専任教員等の配置変更（准教授1増）

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
9 科目	53 科目	1 科目	63 科目	9 科目 [—]	53 科目 [—]	1 科目 [—]	63 科目 [—]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{63} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	791,952 m ²	0 m ²	0 m ²	791,952 m ²			
	運動場用地	113,173 m ²	0 m ²	0 m ²	113,173 m ²			
	小 計	905,125 m ²	0 m ²	0 m ²	905,125 m ²			
	そ の 他	143,427 m ²	0 m ²	0 m ²	143,427 m ²			
	合 計	1,048,552 m ²	0 m ²	0 m ²	1,048,552 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	1,190,017 m ² (1,190,017 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	1,190,017 m ² (1,190,017 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	279 室	274 室	1,018 室	16 室 (補助職員 3 人)	2 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	情報学研究科 情報学専攻			95 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体の共有分を含む
		冊	種	種	点	点	点	
	情報学研究科	7,366,474 [3,444,461] (7,366,474 [3,444,461])	181,025 [111,354] (181,025 [111,354])	53,084 [51,373] (53,084 [51,373])	18,110 (18,110)	72,666 (72,666)	105,452 (105,452)	
	計	7,366,474 [3,444,461] (7,366,474 [3,444,461])	181,025 [111,354] (181,025 [111,354])	53,084 [51,373] (53,084 [51,373])	18,110 (18,110)	72,666 (72,666)	105,452 (105,452)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	53,946 m ²		3,050 席		8,477,417 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	7,945 m ²		陸上競技場 (500mトラック)、テニスコート (9.5面)、バレーボールコート (1面)、野球場・多目的グラウンド・ラグビー場 (各1面)、投てき場・アーチェリー場・弓道場・相撲道場・馬場・エアライフル射撃場 (各1カ所)、プール (50m×8コース) 敷地					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和 5 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を **赤字で見え消し** 修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に **赤字で** 記入してください。
 なお、昨年度の報告において **赤字で見え消し** した部分については、**見え消しのまま黒字に** してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	京 都 大 学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	3
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
総合人間学部					学士(総合人間学)							京都市左京区吉田二本松町						
総合人間学科	4	120	-	480		1.04	-	1.20	1.09		平成15							
文学部					学士(文学)							京都市左京区吉田本町						
人文学科	4	220	-	880		1.02	1.02	1.16	1.05		平成7							
教育学部					学士(教育学)							京都市左京区吉田本町						
教育科学科	4	60	3年次10	260		1.01	-	1.09	1.04		平成10							
法学部					学士(法学)							京都市左京区吉田本町						
経済学部					学士(経済学)							京都市左京区吉田本町						
経済経営学科	4	240	3年次20	1,000		0.98	0.98	1.07	1.00		平成21							
理学部					学士(理学)							京都市左京区北白川通分府						
理学科	4	311	-	1,244		1.04	1.04	1.13	1.06		平成6							
医学部												京都市左京区吉田近衛町						
医学科	6	107	-	642	学士(医学)	1.01	-	1.03	1.02		明治32							
人間健康科学科	4	100	2年次17	451	学士(人間健康科学)	0.96	-	0.99	0.96		平成20							
薬学部												京都市左京区吉田下阿達町46-29	【薬科学科、薬学科の平均入学定員超過率について】 薬学部は、平成30年度入学者より、4年連続時に学科への配属が決定されるため、学科ごとの入学者数を算出できない。そのため、平成30年度以降は、入学者数を各学科の入学定員の割合で案分し、各学科の入学者数を算出(小数点以下2ケタまで)したうえで、定員超過率を計算している。 【薬科学科、薬学科の収容定員充足率、収容定員充足率】 薬学部は、4年連続時に学科への配属が決定されるため、1年次から第3年次までの学生を含めた学科ごとの在学生数を算出できない。そのため、1年次から3年次までの在学生数を1年次から3年次までの収容定員に相当する数で案分し、これに4年次以降の在学生数を加えたうえで、収容定員充足率を計算している。					
薬科学科	4	65	-	260	学士(薬科学)	1.05	-	1.11	1.06		平成18							
薬学科	6	15	-	90	学士(薬学)	1.06	-	1.08	1.01		平成18		定員変更 (△15)					
工学部					学士(工学)							京都市左京区吉田本町						
地球工学科	4	185	-	740		1.00	-	1.06	1.01		平成8							
建築学科	4	80	-	320		1.03	-	1.08	1.04		平成8							
物理工学科	4	235	-	940		1.02	1.02	1.07	1.03		平成6							
電気電子工学科	4	130	-	520		1.03	-	1.10	1.05		平成7							
情報学科	4	90	-	360		1.04	-	1.15	1.08		平成7							
工業化学科	4	235	-	940		1.03	-	1.10	1.04		平成5							
農学部					学士(農学)							京都市左京区北白川通分府						
資源生物科学科	4	94	-	376		1.01	-	1.06	1.02		平成13							
応用生命科学科	4	47	-	188		1.02	-	1.04	1.03		平成13							
地域環境工学科	4	37	-	148		1.03	-	1.10	1.06		平成13							
食料・環境経済学科	4	32	-	128		1.05	-	1.12	1.06		平成13							
森林科学科	4	57	-	228		1.03	-	1.06	1.03		平成13							
食品生物科学科	4	33	-	132		1.02	-	1.04	1.03		平成13							
大学全体	-	2,823	57	11,667		-	-	-	-		-							

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、**本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。**
(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度A Cの対象となる学部等については、**必ず下線を引いてください。**
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。**
また、**0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。**
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<情報学研究科 情報学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	青柳 富誌生 (59) <令和5年4月> 博士(理学)
		数理科学特別セミナー 非線形物理学特別セミナーA 非線形物理学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	東 俊一 (47) <令和5年4月> 博士(理学)
		システム科学特別セミナー 人間機械共生系特別セミナーA 人間機械共生系特別セミナーB (研究指導)
専	教授	五十嵐 淳 (50) <令和5年4月> 博士(理学)
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB コンピュータ工学特別セミナーA コンピュータ工学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	石井 信 (60) <令和5年4月> 博士(工学)
		システム科学特別セミナー システム情報論特別セミナーA システム情報論特別セミナーB (研究指導)
専	教授	磯 祐介 (64) <令和5年4月> 博士(理学)
		数理科学特別セミナー 応用解析学特別セミナーA 応用解析学特別セミナーB (研究指導)

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	青柳 富誌生 (59) <令和5年4月> 博士(理学)
		数理科学特別セミナー 非線形物理学特別セミナーA 非線形物理学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	東 俊一 (47) <令和5年4月> 博士(理学)
		システム科学特別セミナー 人間機械共生系特別セミナーA 人間機械共生系特別セミナーB (研究指導)
専	教授	五十嵐 淳 (50) <令和5年4月> 博士(理学)
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB コンピュータ工学特別セミナーA コンピュータ工学特別セミナーB 情報学における長期インターン シップ (研究指導)
専	教授	石井 信 (60) <令和5年4月> 博士(工学)
		システム科学特別セミナー システム情報論特別セミナーA システム情報論特別セミナーB (研究指導)
専	教授	磯 祐介 (65) <令和5年4月> 博士(理学)
		数理科学特別セミナー 応用解析学特別セミナーA 応用解析学特別セミナーB (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	伊藤 孝行 (50) <令和5年4月> 博士(工学)
		社会情報学特別セミナー 社会情報ネットワーク特別セ ミナーA 社会情報ネットワーク特別セ ミナーB (研究指導)
専	教授	梅野 健 (56) <令和5年4月> 博士(理学)
		数理工学特別セミナーA 数理工学特別セミナーB 数理物理学特別セミナー (研究指導)
専	教授	大木 英司 (54) <令和5年4月> 博士(工学)
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB 通信システム工学特別セミナーA 通信システム工学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	大塚 敏之 (55) <令和5年4月> 博士(工学)
		システム科学特別セミナー 人間機械共生系特別セミナーA 人間機械共生系特別セミナーB (研究指導)
専	教授	大手 信人 (59) <令和5年4月> 博士(農学)
		社会情報学特別セミナー 生物圏情報学特別セミナーA 生物圏情報学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	鹿島 久嗣 (48) <令和5年4月> 博士(情報学)
		知能情報学特別セミナー 認知システム特別セミナーA 認知システム特別セミナーB データ科学特別セミナー 応用データ科学特別セミナーA 応用データ科学特別セミナーB (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	伊藤 孝行 (51) <令和5年4月> 博士(工学)
		社会情報学特別セミナー 社会情報ネットワーク特別セ ミナーA 社会情報ネットワーク特別セ ミナーB (研究指導)
専	教授	梅野 健 (57) <令和5年4月> 博士(理学)
		数理工学特別セミナーA 数理工学特別セミナーB 数理物理学特別セミナー (研究指導)
専	教授	大木 英司 (54) <令和5年4月> 博士(工学)
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB 通信システム工学特別セミナーA 通信システム工学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	大塚 敏之 (55) <令和5年4月> 博士(工学)
		システム科学特別セミナー 人間機械共生系特別セミナーA 人間機械共生系特別セミナーB (研究指導)
専	教授	大手 信人 (59) <令和5年4月> 博士(農学)
		社会情報学特別セミナー 生物圏情報学特別セミナーA 生物圏情報学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	鹿島 久嗣 (48) <令和5年4月> 博士(情報学)
		知能情報学特別セミナー 認知システム特別セミナーA 認知システム特別セミナーB データ科学特別セミナー 応用データ科学特別セミナーA 応用データ科学特別セミナーB (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	加納 学 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		システム科学特別セミナー 人間機械共生系特別セミナーA 人間機械共生系特別セミナーB (研究指導)
専	教授	神谷 之康 (52) <令和5年4月> Ph.D(米国)
		知能情報学特別セミナー 脳認知科学特別セミナーA 脳認知科学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	河原 達也 (58) <令和5年4月> 博士(工学)
		知能情報学特別セミナー 知能メディア特別セミナーA 知能メディア特別セミナーB 情報学における長期インターン シップ (研究指導)
専	教授	神田 崇行 (47) <令和5年4月> 博士(情報学)
		社会情報学特別セミナー 社会情報モデル特別セミナーA 社会情報モデル特別セミナーB 社会情報ネットワーク特別セ ミナーA 社会情報ネットワーク特別セ ミナーB (研究指導)
専	教授	木上 淳 (62) <令和5年4月> 理学博士
		数理科学特別セミナー 応用解析学特別セミナーA 応用解析学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	熊田 孝恒 (60) <令和5年4月> 教育学博士
		知能情報学特別セミナー 脳認知科学特別セミナーA 脳認知科学特別セミナーB (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	加納 学 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		システム科学特別セミナー 人間機械共生系特別セミナーA 人間機械共生系特別セミナーB (研究指導)
専	教授	神谷 之康 (52) <令和5年4月> Ph.D(米国)
		知能情報学特別セミナー 脳認知科学特別セミナーA 脳認知科学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	河原 達也 (58) <令和5年4月> 博士(工学)
		知能情報学特別セミナー 知能メディア特別セミナーA 知能メディア特別セミナーB (研究指導)
専	教授	神田 崇行 (47) <令和5年4月> 博士(情報学)
		社会情報学特別セミナー 社会情報モデル特別セミナーA 社会情報モデル特別セミナーB 社会情報ネットワーク特別セ ミナーA 社会情報ネットワーク特別セ ミナーB (研究指導)
専	教授	木上 淳 (62) <令和5年4月> 理学博士
		数理科学特別セミナー 応用解析学特別セミナーA 応用解析学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	熊田 孝恒 (60) <令和5年4月> 教育学博士
		知能情報学特別セミナー 脳認知科学特別セミナーA 脳認知科学特別セミナーB (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	黒橋 禎夫 (56) <令和5年4月> 博士(工学)
		知能情報学特別セミナー 知能メディア特別セミナーA 知能メディア特別セミナーB (研究指導)
専	教授	佐藤 高史 (57) <令和5年4月> 博士(情報学)
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB 集積システム工学特別セミナーA 集積システム工学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	下平 英寿 (55) <令和5年4月> 博士(工学)
		システム科学特別セミナー システム構成論特別セミナーA システム構成論特別セミナーB データ科学特別セミナー 統計モデリング特別セミナーA 統計モデリング特別セミナーB (研究指導)
専	教授	高木 直史 (64) <令和5年4月> 工学博士
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB コンピュータ工学特別セミナーA コンピュータ工学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	田口 智清 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		数理科学特別セミナー 応用数学特別セミナーA 応用数学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	田島 敬史 (54) <令和5年4月> 博士(理学)
		社会情報学特別セミナー 社会情報モデル特別セミナーA 社会情報モデル特別セミナーB (研究指導)
専	教授	田中 利幸 (57) <令和5年4月> 博士(工学)
		システム科学特別セミナー システム構成論特別セミナーA システム構成論特別セミナーB データ科学特別セミナー 機械学習特別セミナーA 機械学習特別セミナーB (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	黒橋 禎夫 (56) <令和5年4月> 博士(工学)
		知能情報学特別セミナー 知能メディア特別セミナーA 知能メディア特別セミナーB (研究指導)
専	教授	佐藤 高史 (57) <令和5年4月> 博士(情報学)
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB 集積システム工学特別セミナーA 集積システム工学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	下平 英寿 (55) <令和5年4月> 博士(工学)
		システム科学特別セミナー システム構成論特別セミナーA システム構成論特別セミナーB データ科学特別セミナー 統計モデリング特別セミナーA 統計モデリング特別セミナーB (研究指導)
専	教授	高木 直史 (64) <令和5年4月> 工学博士
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB コンピュータ工学特別セミナーA コンピュータ工学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	田口 智清 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		数理科学特別セミナー 応用数学特別セミナーA 応用数学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	田島 敬史 (54) <令和5年4月> 博士(理学)
		社会情報学特別セミナー 社会情報モデル特別セミナーA 社会情報モデル特別セミナーB (研究指導)
専	教授	田中 利幸 (57) <令和5年4月> 博士(工学)
		システム科学特別セミナー システム構成論特別セミナーA システム構成論特別セミナーB データ科学特別セミナー 機械学習特別セミナーA 機械学習特別セミナーB (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	永持 仁 (63) <令和5年4月> 工学博士
		数理工学特別セミナーA 数理工学特別セミナーB 応用数学特別セミナー (研究指導)
専	教授	西田 眞也 (60) <令和5年4月> 博士(文学)
		知能情報学特別セミナー 脳認知科学特別セミナーA 脳認知科学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	西野 恒 (49) <令和5年4月> 博士(理学)
		知能情報学特別セミナー 知能メディア特別セミナーA 知能メディア特別セミナーB (研究指導)
専	教授	橋本 昌宜 (48) <令和5年4月> 博士(情報学)
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB 集積システム工学特別セミナーA 集積システム工学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	原田 博司 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB 通信システム工学特別セミナーA 通信システム工学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	湊 真一 (57) <令和5年4月> 博士(工学)
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB コンピュータ工学特別セミナーA コンピュータ工学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	森本 淳 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		システム科学特別セミナー システム情報論特別セミナーA システム情報論特別セミナーB (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西田 眞也 (60) <令和5年4月> 博士(文学)
		知能情報学特別セミナー 脳認知科学特別セミナーA 脳認知科学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	西野 恒 (49) <令和5年4月> 博士(理学)
		知能情報学特別セミナー 知能メディア特別セミナーA 知能メディア特別セミナーB (研究指導)
専	教授	橋本 昌宜 (48) <令和5年4月> 博士(情報学)
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB 集積システム工学特別セミナーA 集積システム工学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	原田 博司 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB 通信システム工学特別セミナーA 通信システム工学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	湊 真一 (57) <令和5年4月> 博士(工学)
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB コンピュータ工学特別セミナーA コンピュータ工学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	森本 淳 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		システム科学特別セミナー システム情報論特別セミナーA システム情報論特別セミナーB (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	矢ヶ崎 一幸 (63) <令和5年4月> 工学博士
		数理工学特別セミナーA 数理工学特別セミナーB 数理物理学特別セミナー (研究指導)
専	教授	山下 信雄 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		数理工学特別セミナーA 数理工学特別セミナーB システム数理特別セミナー (研究指導)
専	教授	山本 章博 (62) <令和5年4月> 理学博士
		知能情報学特別セミナー 認知システム特別セミナーA 認知システム特別セミナーB データ科学特別セミナー 応用データ科学特別セミナーA 応用データ科学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	栗野 皓光 (35) <令和5年4月> 博士(情報学)
		集積システム工学特別セミナーA 集積システム工学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	小淵 智之 (40) <令和5年4月> 博士(理学)
		システム構成論特別セミナーA システム構成論特別セミナーB 機械学習特別セミナーA 機械学習特別セミナーB (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	矢ヶ崎 一幸 (63) <令和5年4月> 工学博士
		数理工学特別セミナーA 数理工学特別セミナーB 数理物理学特別セミナー (研究指導)
専	教授	山下 信雄 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		数理工学特別セミナーA 数理工学特別セミナーB システム数理特別セミナー (研究指導)
専	教授	山本 章博 (62) <令和5年4月> 理学博士
		知能情報学特別セミナー 認知システム特別セミナーA 認知システム特別セミナーB データ科学特別セミナー 応用データ科学特別セミナーA 応用データ科学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	土居 秀幸 (46) <令和5年4月> 博士(生命科学)
		社会情報学特別セミナー 生物圏情報学特別セミナーA 生物圏情報学特別セミナーB (研究指導)
専	教授	新津 葵一 (40) <令和5年4月> 博士(工学)
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB 集積システム工学特別セミナーA 集積システム工学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	栗野 皓光 (35) <令和5年4月> 博士(情報学)
		集積システム工学特別セミナーA 集積システム工学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	小淵 智之 (40) <令和5年4月> 博士(理学)
		システム構成論特別セミナーA システム構成論特別セミナーB 機械学習特別セミナーA 機械学習特別セミナーB (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	加嶋 健司 (45) <令和5年4月> 博士(情報学)
		システム数理解特別セミナー (研究指導)
専	准教授	川原 純 (41) <令和5年4月> 博士(情報学)
		コンピュータ工学特別セミナーA コンピュータ工学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	小山(赤石)里奈 (49) <令和5年4月> 博士(農学)
		生物圏情報学特別セミナーA 生物圏情報学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	櫻間 一徳 (46) <令和5年4月> 博士(情報学)
		人間機械共生系特別セミナーA 人間機械共生系特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	佐藤 丈博 (35) <令和5年4月> 博士(工学)
		通信システム工学特別セミナーA 通信システム工学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	柴山 允瑠 (44) <令和5年4月> 博士(理学)
		数理物理学特別セミナー (研究指導)
専	准教授	JANSSON, Jesper Andreas (51) <令和5年4月> Ph. D. (スウェーデン)
		コンピュータ工学特別セミナーA コンピュータ工学特別セミナーB
専	准教授	白石 大典 (37) <令和5年4月> 博士(理学)
		応用解析学特別セミナーA 応用解析学特別セミナーB (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	加嶋 健司 (45) <令和5年4月> 博士(情報学)
		システム数理解特別セミナー (研究指導)
専	准教授	川原 純 (41) <令和5年4月> 博士(情報学)
		コンピュータ工学特別セミナーA コンピュータ工学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	小山(赤石)里奈 (49) <令和5年4月> 博士(農学)
		生物圏情報学特別セミナーA 生物圏情報学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	櫻間 一徳 (47) <令和5年4月> 博士(情報学)
		人間機械共生系特別セミナーA 人間機械共生系特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	佐藤 丈博 (35) <令和5年4月> 博士(工学)
		通信システム工学特別セミナーA 通信システム工学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	柴山 允瑠 (44) <令和5年4月> 博士(理学)
		数理物理学特別セミナー (研究指導)
専	准教授	JANSSON, Jesper Andreas (51) <令和5年4月> Ph. D. (スウェーデン)
		コンピュータ工学特別セミナーA コンピュータ工学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	白石 大典 (37) <令和5年4月> 博士(理学)
		応用解析学特別セミナーA 応用解析学特別セミナーB (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	末永 幸平 (43) <令和5年4月> 博士(情報理工学)
		コンピュータ工学特別セミナーA コンピュータ工学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	CHU, Chenhui (36) <令和5年4月> 博士(情報学)
		(研究指導)
専	准教授	辻 徹郎 (38) <令和5年4月> 博士(工学)
		応用数理学特別セミナーA 応用数理学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	辻本 諭 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		応用数学特別セミナー (研究指導)
専	准教授	寺前 順之介 (48) <令和5年4月> 博士(理学)
		非線形物理学特別セミナーA 非線形物理学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	中澤 篤志 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		認知システム特別セミナーA 認知システム特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	中島 亮一 (41) <令和5年4月> 博士(心理学)
		脳認知科学特別セミナーA 脳認知科学特別セミナーB (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	末永 幸平 (43) <令和5年4月> 博士(情報理工学)
		コンピュータ工学特別セミナーA コンピュータ工学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	CHU, Chenhui (36) <令和5年4月> 博士(情報学)
		(研究指導)
専	准教授	辻 徹郎 (38) <令和5年4月> 博士(工学)
		応用数理学特別セミナーA 応用数理学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	辻本 諭 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		応用数学特別セミナー (研究指導)
専	准教授	寺前 順之介 (48) <令和5年4月> 博士(理学)
		非線形物理学特別セミナーA 非線形物理学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	中澤 篤志 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		認知システム特別セミナーA 認知システム特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	中島 亮一 (41) <令和5年4月> 博士(心理学)
		脳認知科学特別セミナーA 脳認知科学特別セミナーB (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	西原 修 (62) <令和5年4月> 博士(工学)
		人間機械共生系特別セミナーA 人間機械共生系特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	延原 章平 (45) <令和5年4月> 博士(情報学)
		知能メディア特別セミナーA 知能メディア特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	原口 和也 (44) <令和5年4月> 博士(情報学)
		応用数学特別セミナー (研究指導)
専	准教授	福田 エレン(山中) 秀美 (39) <令和5年4月> Ph. D. (ブラジル)
		システム数理特別セミナー (研究指導)
専	准教授	藤原 宏志 (46) <令和5年4月> 博士(情報学)
		応用解析学特別セミナーA 応用解析学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	本多 淳也 (37) <令和5年4月> 博士(科学)
		システム構成論特別セミナーA システム構成論特別セミナーB 統計モデリング特別セミナーA 統計モデリング特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	馬 強 (48) <令和5年4月> 博士(情報学)
		社会情報モデル特別セミナーA 社会情報モデル特別セミナーB (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	西原 修 (62) <令和5年4月> 博士(工学)
		人間機械共生系特別セミナーA 人間機械共生系特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	延原 章平 (45) <令和5年4月> 博士(情報学)
		知能メディア特別セミナーA 知能メディア特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	原口 和也 (44) <令和5年4月> 博士(情報学)
		応用数学特別セミナー (研究指導)
専	准教授	福田 エレン(山中) 秀美 (40) <令和5年4月> Ph. D. (ブラジル)
		システム数理特別セミナー (研究指導)
専	准教授	藤原 宏志 (46) <令和5年4月> 博士(情報学)
		応用解析学特別セミナーA 応用解析学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	本多 淳也 (37) <令和5年4月> 博士(科学)
		システム構成論特別セミナーA システム構成論特別セミナーB 統計モデリング特別セミナーA 統計モデリング特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山田 誠 (42) <令和5年4月> 博士(統計科学)
		認知システム特別セミナーA 認知システム特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	山本 高至 (43) <令和5年4月> 博士(情報学)
		通信システム工学特別セミナーA 通信システム工学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	吉井 和佳 (42) <令和5年4月> 博士(情報学)
		知能メディア特別セミナーA 知能メディア特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	吉川 仁 (48) <令和5年4月> 博士(工学)
		応用数理学特別セミナーA 応用数理学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	林 冬恵 (41) <令和5年4月> 博士(情報学)
		社会情報ネットワーク特別セミナーA 社会情報ネットワーク特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	水原 啓暁 (47) <令和5年4月> 博士(工学)
		脳認知科学特別セミナーA 脳認知科学特別セミナーB (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	吉井 和佳 (42) <令和5年4月> 博士(情報学)
		知能メディア特別セミナーA 知能メディア特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	吉川 仁 (48) <令和5年4月> 博士(工学)
		応用数理学特別セミナーA 応用数理学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	水原 啓暁 (47) <令和5年4月> 博士(工学)
		脳認知科学特別セミナーA 脳認知科学特別セミナーB (研究指導)
専	准教授	後藤 幸織 (47) <令和5年4月> Ph.D(米国)
		(研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	阿久津 達也 (61) <令和5年4月> 工学博士 知能情報学特別セミナー 生命システム情報学特別セ ミナーA 生命システム情報学特別セ ミナーB (研究指導)
兼任	教授	緒方 広明 (53) <令和5年4月> 博士(工学) 社会情報学特別セミナー 社会情報解析基盤特別セ ミナーA 社会情報解析基盤特別セ ミナーB (研究指導)
兼任	教授	岡部 寿男 (59) <令和5年4月> 博士(工学) 通信情報システム特別セ ミナーA 通信情報システム特別セ ミナーB 情報通信基盤特別セ ミナーA 情報通信基盤特別セ ミナーB (研究指導)
兼任	教授	黒田 知宏 (51) <令和5年4月> 博士(工学) 社会情報学特別セミナー 医療情報学特別セ ミナーA 医療情報学特別セ ミナーB (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	島崎 秀昭 (46) <令和5年4月> 博士(理学) システム情報論特別セ ミナーA システム情報論特別セ ミナーB (研究指導)
専	准教授	BRSCIC, Drazen (45) <令和5年4月> 博士(工学) (研究指導)
専	准教授	HADFI, Rafik (38) <令和5年4月> 博士(工学) (研究指導)
兼任	教授	阿久津 達也 (61) <令和5年4月> 工学博士 知能情報学特別セミナー 生命システム情報学特別セ ミナーA 生命システム情報学特別セ ミナーB (研究指導)
兼任	教授	緒方 広明 (53) <令和5年4月> 博士(工学) 社会情報学特別セミナー 社会情報解析基盤特別セ ミナーA 社会情報解析基盤特別セ ミナーB (研究指導)
兼任	教授	岡部 寿男 (59) <令和5年4月> 博士(工学) 通信情報システム特別セ ミナーA 通信情報システム特別セ ミナーB 情報通信基盤特別セ ミナーA 情報通信基盤特別セ ミナーB (研究指導)
兼任	教授	黒田 知宏 (51) <令和5年4月> 博士(工学) 社会情報学特別セミナー 医療情報学特別セ ミナーA 医療情報学特別セ ミナーB (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	坂上 貴之 (51) <令和5年4月> 博士(理学)
		数理科学特別セミナー
兼担	教授	樫木 哲夫 (65) <令和5年4月> 工学博士
		数理科学特別セミナー
兼担	教授	首藤 一幸 (49) <令和5年4月> 博士(情報科学)
		社会情報学特別セミナー 社会情報解析基盤特別セミナーA 社会情報解析基盤特別セミナーB (研究指導)
兼担	教授	高田 滋 (56) <令和5年4月> 博士(工学)
		数理科学特別セミナー
兼担	教授	多々納 裕一 (61) <令和5年4月> 博士(工学)
		社会情報学特別セミナー 地域・防災情報システム学特別 セミナーA 地域・防災情報システム学特別 セミナーB (研究指導)
兼担	教授	田村 寛 (50) <令和5年4月> 博士(医学)
		データ科学特別セミナー 応用データ科学特別セミナーA 応用データ科学特別セミナーB (研究指導)
兼担	教授	中尾 恵 (46) <令和5年4月> 博士(情報学)
		(研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	坂上 貴之 (51) <令和5年4月> 博士(理学)
		数理科学特別セミナー
兼担	教授	首藤 一幸 (49) <令和5年4月> 博士(情報科学)
		社会情報学特別セミナー 社会情報解析基盤特別セミナーA 社会情報解析基盤特別セミナーB (研究指導)
兼担	教授	高田 滋 (56) <令和5年4月> 博士(工学)
		数理科学特別セミナー
兼担	教授	多々納 裕一 (61) <令和5年4月> 博士(工学)
		社会情報学特別セミナー 地域・防災情報システム学特別 セミナーA 地域・防災情報システム学特別 セミナーB (研究指導)
兼担	教授	田村 寛 (50) <令和5年4月> 博士(医学)
		データ科学特別セミナー 応用データ科学特別セミナーA 応用データ科学特別セミナーB (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	橋口 浩之 (55) <令和5年4月> 博士(工学)
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB 地球電波工学特別セミナーA 地球電波工学特別セミナーB (研究指導)
兼任	教授	畑山 満則 (54) <令和5年4月> 博士(工学)
		社会情報学特別セミナー 地域・防災情報システム学特別 セミナーA 地域・防災情報システム学特別 セミナーB (研究指導)
兼任	教授	林 和則 (48) <令和5年4月> 博士(工学)
		データ科学特別セミナー 機械学習特別セミナーA 機械学習特別セミナーB (研究指導)
兼任	教授	原 尚幸 (53) <令和5年4月> 博士(バイオサイエンス)
		データ科学特別セミナー 統計モデリング特別セミナーA 統計モデリング特別セミナーB (研究指導)
兼任	教授	森 信介 (52) <令和5年4月> 博士(工学)
		知能情報学特別セミナー メディア応用特別セミナーA メディア応用特別セミナーB (研究指導)
兼任	教授	山本 衛 (62) <令和5年4月> 工学博士
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB 地球電波工学特別セミナーA 地球電波工学特別セミナーB (研究指導)
兼任	教授	矢守 克也 (60) <令和5年4月> 博士(人間科学)
		社会情報学特別セミナー 地域・防災情報システム学特別 セミナーA 地域・防災情報システム学特別 セミナーB (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	橋口 浩之 (55) <令和5年4月> 博士(工学)
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB 地球電波工学特別セミナーA 地球電波工学特別セミナーB (研究指導)
兼任	教授	畑山 満則 (54) <令和5年4月> 博士(工学)
		社会情報学特別セミナー 地域・防災情報システム学特別 セミナーA 地域・防災情報システム学特別 セミナーB (研究指導)
兼任	教授	林 和則 (48) <令和5年4月> 博士(工学)
		データ科学特別セミナー 機械学習特別セミナーA 機械学習特別セミナーB (研究指導)
兼任	教授	原 尚幸 (53) <令和5年4月> 博士(バイオサイエンス)
		データ科学特別セミナー 統計モデリング特別セミナーA 統計モデリング特別セミナーB (研究指導)
兼任	教授	森 信介 (52) <令和5年4月> 博士(工学)
		知能情報学特別セミナー メディア応用特別セミナーA メディア応用特別セミナーB (研究指導)
兼任	教授	山本 衛 (62) <令和5年4月> 工学博士
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB 地球電波工学特別セミナーA 地球電波工学特別セミナーB (研究指導)
兼任	教授	矢守 克也 (60) <令和5年4月> 博士(人間科学)
		社会情報学特別セミナー 地域・防災情報システム学特別 セミナーA 地域・防災情報システム学特別 セミナーB (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	雨森 賢一 (49) <令和5年4月> 博士(理学)
		システム情報論特別セミナーA システム情報論特別セミナーB
兼任	教授	中村 裕一 (60) <令和5年4月> 博士(工学)
		知能情報学特別セミナー メディア応用特別セミナーA メディア応用特別セミナーB (研究指導)
兼任	准教授	大西 正光 (44) <令和5年4月> 博士(工学)
		地域・防災情報システム学特別 セミナーA 地域・防災情報システム学特別 セミナーB (研究指導)
兼任	准教授	近藤 一晃 (43) <令和5年4月> 博士(情報科学)
		メディア応用特別セミナーA メディア応用特別セミナーB (研究指導)
兼任	准教授	田村 武幸 (45) <令和5年4月> 博士(情報学)
		生命システム情報学特別セ ミナーA 生命システム情報学特別セ ミナーB (研究指導)
兼任	准教授	西村 耕司 (47) <令和5年4月> 博士(情報学)
		地球電波工学特別セミナーA 地球電波工学特別セミナーB (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	雨森 賢一 (49) <令和5年4月> 博士(理学)
		システム情報論特別セミナーA システム情報論特別セミナーB
兼任	教授	中村 裕一 (60) <令和5年4月> 博士(工学)
		知能情報学特別セミナー メディア応用特別セミナーA メディア応用特別セミナーB (研究指導)
兼任	教授	瀧川 一学 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		(研究指導)
兼任	准教授	近藤 一晃 (43) <令和5年4月> 博士(情報科学)
		メディア応用特別セミナーA メディア応用特別セミナーB (研究指導)
兼任	准教授	田村 武幸 (45) <令和5年4月> 博士(情報学)
		生命システム情報学特別セ ミナーA 生命システム情報学特別セ ミナーB (研究指導)
兼任	准教授	西村 耕司 (47) <令和5年4月> 博士(情報学)
		地球電波工学特別セミナーA 地球電波工学特別セミナーB (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	深沢 圭一郎 (43) <令和5年4月> 博士(工学)
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB 情報通信基盤特別セミナーA 情報通信基盤特別セミナーB (研究指導)
兼担	准教授	藤見 俊夫 (47) <令和5年4月> 博士(農学)
		地域・防災情報システム学特別 セミナーA 地域・防災情報システム学特別 セミナーB (研究指導)
兼担	准教授	水谷 圭一 (39) <令和5年4月> 博士(工学)
		通信システム工学特別セミナーA 通信システム工学特別セミナーB (研究指導)
兼担	准教授	山本 豪志朗 (41) <令和5年4月> 博士(工学)
		(研究指導)
兼担	准教授	横山 竜宏 (46) <令和5年4月> 博士(情報学)
		地球電波工学特別セミナーA 地球電波工学特別セミナーB (研究指導)
兼任	講師	山下 直美 (46) <令和5年4月> 博士(情報学)
		社会情報モデル特別セミナーA 社会情報モデル特別セミナーB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	深沢 圭一郎 (43) <令和5年4月> 博士(工学)
		通信情報システム特別セミナーA 通信情報システム特別セミナーB 情報通信基盤特別セミナーA 情報通信基盤特別セミナーB (研究指導)
兼担	准教授	藤見 俊夫 (47) <令和5年4月> 博士(農学)
		地域・防災情報システム学特別 セミナーA 地域・防災情報システム学特別 セミナーB (研究指導)
専	准教授	水谷 圭一 (39) <令和5年4月> 博士(工学)
		通信システム工学特別セミナーA 通信システム工学特別セミナーB (研究指導)
兼担	准教授	山本 豪志朗 (41) <令和5年4月> 博士(工学)
		(研究指導)
兼担	准教授	横山 竜宏 (46) <令和5年4月> 博士(情報学)
		地球電波工学特別セミナーA 地球電波工学特別セミナーB (研究指導)
兼担	准教授	Flanagan, Brendanjohn (42) <令和5年4月> 博士(情報知能工学)
		(研究指導)
兼任	講師	山下 直美 (46) <令和5年4月> 博士(情報学)
		社会情報モデル特別セミナーA 社会情報モデル特別セミナーB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	阿部 正幸 (55) <令和5年4月> 博士(工学)
		社会情報ネットワーク特別セミナーA 社会情報ネットワーク特別セミナーB
兼任	講師	高橋 由泰 (50) <令和5年4月> 博士(工学)
		システム数理特別セミナー
兼任	講師	TIBOUCHI, Mehdi (39) <令和5年4月> 情報科学博士(フランス)
		社会情報ネットワーク特別セミナーA 社会情報ネットワーク特別セミナーB
兼任	講師	野中 洋一 (56) <令和5年4月> 博士(工学)
		数理工学特別セミナーA 数理工学特別セミナーB システム数理特別セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	阿部 正幸 (55) <令和5年4月> 博士(工学)
		社会情報ネットワーク特別セミナーA 社会情報ネットワーク特別セミナーB
兼任	講師	高橋 由泰 (50) <令和5年4月> 博士(工学)
		システム数理特別セミナー
兼任	講師	TIBOUCHI, Mehdi (39) <令和5年4月> 情報科学博士(フランス)
		社会情報ネットワーク特別セミナーA 社会情報ネットワーク特別セミナーB
兼任	講師	野中 洋一 (56) <令和5年4月> 博士(工学)
		数理工学特別セミナーA 数理工学特別セミナーB システム数理特別セミナー

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目」の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・五十嵐淳教授の「情報学における長期インターンシップ」担当追加。
- ・河原達也教授の「情報学における長期インターンシップ」担当免。
- ・黒橋禎夫教授（専任）就任辞退、令和5年4月教授（兼任）として就任、「知能情報学特別セミナー」「知能メディア特別セミナーA,B」「（研究指導）」を担当。
- ・永持仁教授就任辞退。
- ・JANSSON, Jesper Andreas准教授の「（研究指導）」担当追加。
- ・中澤篤志准教授就任辞退。
- ・馬強准教授就任辞退。
- ・山田誠准教授就任辞退。
- ・山本高至准教授就任辞退。
- ・林冬恵准教授就任辞退。
- ・令和5年4月土居秀幸教授が就任、「社会情報学特別セミナー」「生物圏情報学特別セミナーA、B」「（研究指導）」を担当。
- ・令和5年4月新津葵一教授が就任、「通信情報システム特別セミナーA、B」「集積システム工学特別セミナーA、B」「（研究指導）」を担当。
- ・令和5年4月後藤幸織准教授が就任、「（研究指導）」を担当。
- ・令和5年4月島崎秀昭准教授が就任、「システム情報論特別セミナーA、B」「（研究指導）」を担当。
- ・令和5年4月BRSCIC, Drazen准教授が就任、「（研究指導）」を担当。
- ・水谷圭一准教授（兼任）、令和5年4月准教授（専任）として就任、「通信システム工学特別セミナーA、B」「（研究指導）」を担当。
- ・令和5年4月HADFI, Rafik准教授が就任、「（研究指導）」を担当。
- ・榎木哲夫教授（兼任）、「数理科学特別セミナー」の担当免。
- ・中尾恵教授（兼任）、「（研究指導）」の担当免。
- ・大西正光准教授（兼任）、「地域・防災情報システム学特別セミナーA、B」「（研究指導）」の担当免。
- ・令和5年4月滝川一学教授（兼任）が就任、「（研究指導）」を担当。
- ・令和5年4月Flanagan, Brendanjohn准教授が就任、「（研究指導）」を担当。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
20	14	—
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
30	32	0	0	62	0	34	30	0	0	64	0
(34)	(30)	(0)	(0)	(64)	(0)						
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
うち教授数			うち教授数								
59	30	0	1			61	34	3	0		
(63)	(34)	(0)	(1)			(61)	(34)	(3)	(0)		
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
30	32	0	0	62	0	30	32	0	0	62	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
うち教授数			うち教授数								
59	30	0	1			59	30	0	1		
[—]	[—]	[—]	[—]			[—]	[—]	[—]	[—]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要審査済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B)の教員のうち、定年を延長して採用している教員数)	完成年度時(上記(C)の教員のうち、定年を延長して採用する教員数)
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{62}{62} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{64} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	黒橋 禎夫	R5.3	必修	知能情報学特別セミナー	②	令和5年3月31日付辞職のため就任辞退（5）						
				選択	知能メディア特別セミナーA	②							
				選択	知能メディア特別セミナーB	②							
				必修	（研究指導）	②							
2	教授	永持 仁	R5.3	必修	数理工学特別セミナーA	①	令和5年3月31日付辞職のため就任辞退（5）						
				選択	数理工学特別セミナーB	①							
				選択	応用数学特別セミナー	①							
				必修	（研究指導）	①							
3	准教授	中澤 篤志	R5.3	選択	認知システム特別セミナーA	①	令和5年3月31日付辞職のため就任辞退（5）						
				選択	認知システム特別セミナーB	①							
				必修	（研究指導）	①							
				選択	社会情報モデル特別セミナーA	①							
4	准教授	馬 強	R5.3	選択	社会情報モデル特別セミナーB	①	令和5年3月31日付辞職のため就任辞退（5）						
				必修	（研究指導）	①							
				選択	認知システム特別セミナーA	①							
				選択	認知システム特別セミナーB	①							
5	准教授	山田 誠	R5.3	選択	認知システム特別セミナーA	①	令和5年3月31日付辞職のため就任辞退（5）						
				選択	認知システム特別セミナーB	①							
				必修	（研究指導）	①							
				選択	通信システム工学特別セミナーA	①							
6	准教授	山本 高至	R5.3	選択	通信システム工学特別セミナーB	①	令和5年3月31日付辞職のため就任辞退（5）						
				必修	（研究指導）	①							
				選択	社会情報ネットワーク特別セミナーA	①							
				選択	社会情報ネットワーク特別セミナーB	①							
7	准教授	林 冬恵	R4.9	選択	社会情報ネットワーク特別セミナーB	①	令和4年9月30日付辞職のため就任辞退（5）						
				必修	（研究指導）	①							
				合計（D）		後任補充状況の集計（E）							
				就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
7	人	必修	10	科目	必修	8	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	13	科目	選択	11	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	23	科目	計	19	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）		後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）		後任補充状況の集計（E）+（G）											
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）						
7	人	必修	10	科目	必修	8	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	13	科目	選択	11	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	23	科目	計	19	科目	計	4	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{7}{62} = \boxed{11.29} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (令和4年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<情報学研究科 情報学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>研究科長と7コースの教務委員（教員）からなる教務委員会を設置</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>原則毎月1回、入学試験の際は随時（各コースの教務委員（教員）は必ず参加）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(1)各種学生の受入れ、身分及び入学試験に関すること (2)教育制度及び教育課程等の教務に関すること (3)授業担当者に関すること (4)学位及び修了等に関すること (5)学生の留学・派遣等及び留学生に関すること (6)全学共通科目等に関すること (7)教授会又は専攻長会議から付託された事項 (8)研究科会議から付託された事項 (9)その他研究科長が諮問する事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新任教員のための研修 ・ 授業アンケート等に基づく授業評価と教育改善 ・ 研究科教員（協力講座教員は含み、非常勤講師は除く）の研修 ・ 全学教育シンポジウムの参加 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新任教員のための研修 辞令交付の後に、研究科長が行う 内容は添付の「情報学研究科のファカルティ・デベロップメント（FD）実施要領」を参照のこと ・ 授業アンケート等に基づく授業評価と教育改善 ③を参照のこと ・ 研究科教員（協力講座教員は含み、非常勤講師は除く）の研修 FD強化月間を定めて、各コースの会議とあわせて実施 内容は添付の「情報学研究科のファカルティ・デベロップメント（FD）実施要領」を参照のこと ・ 全学教育シンポジウムの参加 毎年9月に実施されるシンポジウムに多数の教員が参加する

- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 新任教員のための研修
新任教員全員に辞令交付の後に実施
 - ・ 授業アンケート等に基づく授業評価と教育改善
各学期の終了時に実施、担当教員と教務委員にフィードバック
 - ・ 研究科教員（協力講座教員は含み、非常勤講師は除く）の研修
各コース毎に毎年4月／10月に実施し、原則全教員が参加
 - ・ 全学教育シンポジウムの参加
毎年10名程度が参加
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
各コース及び教員で授業改善に取り組んでいる
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
各学期の終了時（8月と2月）に実施
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
担当教員と教務委員にフィードバック

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
 - ・ 教育研究に必要な教員の確保、授業科目の開講等はここまでは当初の計画どおり達成できている。
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
 - ・ 情報学研究科としては、京都大学として実施する自己点検・評価の中で、自己点検・評価を実施するが、公表時期は未定。
 - b 公表方法
 - ・ 大学ホームページに公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・ 本学では、大学全体として大学改革・学位授与機構による認証評価を受けており、次回は令和8年度の実施を予定している。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

情報学研究科各種委員会運営内規

(平成10年4月23日制定)

(平成14年1月11日一部改正)

(平成17年3月11日一部改正)

(平成17年3月11日題名改称)

(平成22年4月9日一部改正)

第1条 本内規は、京都大学大学院情報学研究科の運営に関する規程（以下「運営に関する規程」という。）第11条に定める委員会（以下「各種委員会」という。）の運営を定める。

2 教授会等の議により設置される研究科の委員会等の運営は、別の定めが無い限り、本運営内規を準用する。

第2条 各種委員会の委員長（以下「委員長」という。）は、運営に関する規程第12条第1項の第2号及び第3号の委員の互選により選出する。

2 研究科長は年度の初めに各種委員会をそれぞれ召集して議長となり、委員長を選出する。

3 委員長は副委員長を指名する。

4 委員長は委員会を召集し、議長となる。

5 委員長に事故のあるときは、副委員長が、その職務を代行する。

第3条 各種委員会に必要に応じて、年度毎に、小委員会または作業部会を置くことができる。

2 小委員会又は作業部会の構成は、別の定めが無い限り、当該委員会に委ねる。

3 小委員会又は作業部会の委員は、別の定めが無い限り、各種委員会の推薦に基づき、研究科長が指名する。

4 前三項に規定するもののほか小委員会又は作業部会の組織及び運営に関し必要な事項は、別の定めが無い限り、当該委員会が定める。

5 小委員会または作業部会が発足した場合は、委員長は研究科長に報告し、研究科長は専攻長会議に報告する。

第4条 各種委員会は、必要と認めるときは、委員以外の者を出席させて説明又は意見を聞くことができる。

第5条 各種委員会の審議・調査事項は、別表のとおりとする。

2 前項の規定に関わらず、各種委員会は研究科長或いは教授会からの付託事項を審議調査する。

第6条 この内規に定めるもののほか、各種委員会の議事の運営に関し必要な事項は、教授会の議を経て、当該委員会が定める。

附 則

1 この内規は、平成10年4月23日から施行する。

2 この内規の施行後最初に研究科長が委嘱する委員の任期は、第2条第3項本文の規定にかかわらず、研究科長が指定する日までとする。

附 則

この内規は、平成11年2月18日から施行する。

附 則

この内規は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成22年4月1日から施行する。

別表

各種委員会の審議および調査事項

(大学院情報学研究科)

委 員 会 名	審 議 ・ 調 査 事 項
制 規 委 員 会	(1) 管理運営に関すること (2) 諸規則の制定・改廃に関すること (3) 服務及び研修等に関すること (4) 学生の厚生補導に関すること (5) 教授会又は専攻長会議から付託された事項 (6) その他研究科長が諮問する事項
企 画 委 員 会	(1) 将来構想に関すること (2) 研究科の組織の改廃等に関すること (3) 中期計画に関すること (4) 研究協力及び研究支援に関すること (5) 国際交流及び産官学連携等に関すること (6) 学部兼担に関すること (7) 教授会又は専攻長会議から付託された事項 (8) その他研究科長が諮問する事項
教 務 委 員 会	(1) 各種学生の受入れ、身分及び入学試験に関すること (2) 教育制度及び教育課程等の教務に関すること (3) 授業担当者に関すること (4) 学位及び修了等に関すること (5) 学生の留学・派遣等及び留学生に関すること (6) 全学共通科目等に関すること (7) 教授会又は専攻長会議から付託された事項 (8) 研究科会議から付託された事項 (9) その他研究科長が諮問する事項
財 務 委 員 会	(1) 概算要求に関すること (2) 予算及び研究科共通経費の配分に関すること (3) 決算に関すること (4) 教授会又は専攻長会議から付託された事項 (5) その他研究科長が諮問する事項
評価・広報委員会	(1) 自己点検に関すること (2) 研究科に係る各種評価等に関すること (3) FDに関すること (4) 研究科の広報及びアウトリーチ等に関すること (5) 教授会又は専攻長会議から付託された事項 (6) その他研究科長が諮問する事項
基 盤 整 備 委 員 会	(1) 建物等施設・設備の整備等に関すること (2) 計算機環境・情報通信システムの計画、導入及び運営に関すること (3) 計算機ネットワークおよび情報セキュリティに関すること (4) 環境保全及び安全・衛生に関すること (5) 図書等に関すること (6) 教授会又は専攻長会議から付託された事項 (7) その他研究科長が諮問する事項

情報学研究科ファカルティ・ディベロップメント (FD)実施要領

2021年2月26日 情報学研究科長裁定

この実施要領は京都大学通則第43条の2に規定される「授業及び研究指導の内容及び方法の改善」(以下、「FD」という。)を、情報学研究科長(以下、「研究科長」という。)の監督の下に情報学研究科全体の組織的取組みとして実施するために定める。

第一 情報学研究科が行なうFD活動は、以下の項目からなるものとする。

- (1) 他大学等から着任した新任の教員のための研修
- (2) 研究科教員(協力講座教員は含み、非常勤講師は除く)のための研修
- (3) 授業参観等も含む教員相互の授業評価と教育改善
- (4) 授業アンケート等に基づく授業評価と教育改善
- (5) 修了者アンケートに基づく授業評価と教育改善
- (6) FDを目的とした講演会等の実施
- (7) その他、FDを目的として研究科長が指示する事項

第二 第一第1号は、新任教員が着任したとき、以下の資料を用いて研究科長が行なう。なお、このFD活動を研究科長は情報学系長に委嘱することができる。

- (1) 「京都大学の教職員像」および「京都大学の基本理念」に関する資料
- (2) 情報学研究科の教育、および全学共通教育等に関する資料
- (3) 人権問題およびハラスメント防止等に関する資料
- (4) 研究公正および適正な研究費支出等に関する資料
- (5) その他、情報学研究科における適切な教育活動の涵養に必要と研究科長が判断する資料

2 第一第2号および第3号については、必要に応じて、コース単位で実施する。

3 第一第4号および第5号については、教務委員会と各コースが協力して毎年度に実施する。

4 第一第6号および第7号については、研究科長が必要と判断したとき、関係する各種委員会と協力して、臨時に実施する。

第三 研究科長は毎年4月と10月をFD強化月間と定め、組織的なFD活動の活性化を図る。

- 2 各コースは第二第3項について、前項で定められる2回の月間のうち少なくとも1回の月間を活用して、コース会議等を利用した組織的なFD活動を行わなければならない。なお、事情等のあるときは、第二第2項の実施も含めて、FD強化月間以外の時期にコースによる組織的なFD活動を行なって

もよい。

- 3 前項の組織的なFD実施義務を果たさないコースに対しては、研究科長は、該当コースに対する運営費交付金のうち教育に関する経費配分を減額することができる。
- 4 各コースは教育活動の実態を考慮してFD活動の参画義務を負う教員を特定し、年度毎にその該当者のリストを作成する。その際、1年未満に研究科を離任することが予定される教員、半年以上の長期外国出張中または休職中の教員、および単独での授業（兼担学部および全学共通科目も含む）の担当が無いまたは指導教員として認定されていない助教については、リストから除外することができる。
- 5 コース長はFD活動の参画義務を負う教員の参画率を調査し、FD実施後研究科長に報告する。
- 6 コースのFD活動を通して教育の質の保証等のために解決すべき重要な課題が発見された場合は、コースはその内容を記録して研究科長に報告し、また必要に応じてその解決のための研究等に取り組み、研究科長と協力して適切な対応をとらなければならない。

第四 授業アンケートおよび修了者によるアンケートを集計したときはその内容を教務委員会で報告し、教務委員会はコース枠を超えた研究科としての改善等の取組みの必要の有無を審議する。

- 2 コースの教務委員は、前項の報告内容を各コースで実施するFDで活用する。

第五 授業シラバス等は、教務委員会の委員が関係コース分について記載内容の適切性を調査し、必要に応じて適切な対応をとる。

第六 本裁定を改訂するときは、研究科長は教務委員会に事前審議を付託し、専攻長会議での審議を経た上で、研究科長が新たに裁定する。

附則

2020年度は2021年3月を第三で規定する組織的なFD強化月間とし、各専攻は2021年3月末迄に対象者のリストと第5項の参画率の報告を行なわなければならない。この際、2020年度中に専攻での組織的なFD活動をすでに行っている場合は、その実績に基づいて報告する。

附則

この実施要領は、2021年3月1日から適用する。